

見守りサービスの実証実験

シンクレイヤ 賃貸管理会社らと協働

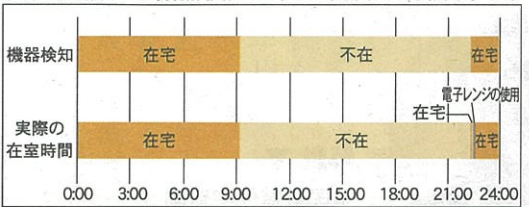
情報通信システム関連の設計やコンサルティングを行うシンクレイヤ（愛知県名古屋市）は、見守りサービスの提供を目指した実証実験を実施した。ケーブルテレビ富山（富山市）およびディライトアメニティ（同）と協働で行った。

実施期間は3～6月。富山県内にある単身世帯の賃貸住宅のうち1戸を対象とした。同見守りサービスの導入が想定される類似環境にて、Wi-Fiセンシング用機器を設置。専有部内において、6パターン設置した。

機器からの検知結果と実際の在室状況を比較検証。その有効性と単身世帯に向けたサービスの可能性を評価した。

実験の結果、在室または不在の状況を正確に検知でき、期待通りの効果が得られたとする。懸念される、隣室の状況や電子レンジの動作による影響については、誤作動を

実証実験での機器検知と在室状況の比較(平日)



※シンクレイヤ発表資料を基に全国賃貸住宅新聞で作成

対象物件の入居者からは「操作不要で機器の存在も気にならない、1人暮らしの高齢者にはいいサービスだと思う」といった声が上がった。

Wi-FiセンシングはWi-Fiの電波を用いて人の動きを検知できるため、カメラやウェアラブル機器の設置は不要。そのためプライバシー面や導入コストの面などからメリットが大きいソリューションとして期待されるといふ。

実験で得られる技術と知識を基に、不動産管理会社向けの見守りサービスの提供を2026年以降に実現していきたいとする。

今後も実証実験を継続して行い、見守りに必要な機能を可能な限り早期に実現できるよう対応を進めていく。



▶センシング機器を設置し、見守りの実証実験を行った